

# 食育・地産地消に関するアンケート調査票

## (一般県民対象)

### ■ あなたについてお伺いします。(該当する項目を○で囲んでください)

A あなたの住んでいる市町名: \_\_\_\_\_

B あなたの年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

C あなたの性別 ①男 ②女

D あなたの職業

仕事をしている方 …①正規の職員・従業員 ②パート・アルバイト ③会社などの役員 ④自営業 ⑤その他  
仕事をしていない方…⑥主婦 ⑦学生 ⑧定年退職者 ⑨その他

D あなたの世帯構成 ① 単身世帯 ② 核家族世帯(夫妻のみ世帯を含む)  
③ 多世代世帯(三世代以上) ④ その他

### ■ それでは、以下の質問に対して当てはまるものに○印または文章でお答えください。

#### I あなたの「普段の食生活」と「食育」についてお聞きします。

食育とは、様々な経験を通じて「食」に関する知識と、身体に良い食材を選んだり栄養を損なわない調理方法を選ぶなど、「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てることをいいます。

問1. あなたは、1週間のうち何回、家族または知人等と一緒に食事をしていきますか。

※全員一緒になくても、誰か一緒に食卓についていることも含みます

(○印はそれぞれ1つ)

【朝食】 1. 毎日 2. 週5～6回 3. 週3～4回  
4. 週1～2回 5. 全くない

【夕食】 1. 毎日 2. 週5～6回 3. 週3～4回  
4. 週1～2回 5. 全くない

問2. あなたは、「健康と食生活の関係」について関心がありますか。(○印は1つ)

1. とても関心がある 2. 関心がある 3. 関心がない 4. わからない

問3. あなた(あなたの家庭)は、日常の食事の中に郷土料理や伝承料理を取り入れて食べていきますか。(○印は1つ)

1. よく食べる 2. ときどき食べる 3. ほとんど食べない

問4. あなた（あなたの家庭）は、行事食（おせち料理、桃の節句、端午の節句等の行事で食べる食事）を取り入れて年に1回以上食べていますか。（○印は1つ）

1. いわれについて理解した上で食べる。
2. いわれはわからないが食べる。
3. いわれは理解しているが食べない。
4. いわれも知らないし食べない。

問5. あなた（あなたの家庭）が、日々の食事の中で実践していることはどれですか。（○印はいくつでも）

1. 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を伝えること
2. 旬の食材を使って季節に応じた料理を楽しむこと
3. 食材に関する知識や料理技術を身につけること
4. 家族揃って食卓を囲み、会話をしながら楽しく食べること。
5. 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べること。
6. 朝昼晩、3食きちんと決まった時間に食べること。
7. 生産から消費までの食べ物の循環を意識し、食品ロスを減らすこと。
8. その他（ )

問6. 主食・主菜・副菜を3つ揃えて食べる食事を1日に2回以上食べるのは、週に何日ありますか。

1. ほぼ毎日
2. 週に4～5日
3. 週に2～3日
4. ほとんどない

問7. あなた（あなたの家族）は、食事の際に主食としてごはんを食べますか。

1. 1日3食、毎日食べる
2. 1日2回、毎日食べる
3. 1日1回毎日食べる
4. 週に4～5回食べる
5. 週に2～3回食べる
6. 週に1～2回食べる
7. 食べない

問8. あなた（あなたの家庭で）は、食事をする時に、「よく噛むこと」、「味わって食べること」など、食べ方を意識していますか。（○印は1つ）

1. 常に意識している
2. 時々意識している
3. 意識していない
4. わからない

問9. あなた（あなたの家庭）の日常の食事では、どのくらいの頻度で手作りをしていますか。※一品だけでも構いません（○印はそれぞれ1つ）

- 【朝食】
1. 毎日
  2. 週5～6回
  3. 週3～4回
  4. 週1～2回
  5. 全くない

- 【昼食】
1. 毎日
  2. 週5～6回
  3. 週3～4回
  4. 週1～2回
  5. 全くない

- 【夕食】
1. 毎日
  2. 週5～6回
  3. 週3～4回
  4. 週1～2回
  5. 全くない



## II 「地産地消」についてお聞きします。

「地産地消」とは、地域で生産されたものを、その地域で消費することです。

「地産地消」による消費者のメリットとして、

- ・生産者との距離が近く、新鮮な食材を食べることができる
- ・地域の身近な食材を通して、食材の旬や産地について理解を深められる
- ・地域固有の食材を活用した郷土料理や行事食など、食文化の伝承につながるなどが挙げられます。

問14. あなたは、農林水産物や農産加工品を購入する際、福井県産農林水産物（以下「地場産品」という）であることを意識していますか。（○印は1つ）

1. 常に意識している
2. たまに意識している
3. 意識していない
4. その他（                                  ）

問15. 問14で、「1.常に意識している」、または「2.たまに意識している」と回答した方にお聞きします。その理由は何ですか。（○印はいくつでも）

1. 新鮮だから
2. 安全で安心できるから
3. 価格が安いから
4. おいしいから
5. 地域の農地保全や農業振興につながるから
6. 食料自給率に関心があるから
7. フードマイレージなどの環境負荷が少ないから
8. その他（                                  ）

※フードマイレージ：食料の輸送距離という意味で、生産地から消費地までの食料の輸送に伴い排出される二酸化炭素が、環境に与える負荷を表したもの。

問16. あなたが、スーパーなど量販店で地場産品を購入する際、県外産品と比較して気がつくことはありますか。あるとすればそれは何ですか。（○印はいくつでも）

1. 種類が少ない
2. 種類が豊富
3. 価格が高い
4. 価格が安い
5. 伝統野菜など特徴のある品目がない
6. 特徴のある品目が多い。
7. 品質、鮮度が良くない
8. 品質、鮮度が良い
9. 地場産品だとわかる表示が少ない
10. その他（                                  ）
11. 特に不満はない

問17. あなたは、販売・使用される地場産品の種類や量が今より増えた方が良いと考えますか。増えるとすれば、どこで増えるのが良いと思いますか。（○印は3つまで）

1. 量販店の生鮮品売場
2. 量販店の惣菜売場
3. 社員食堂や学生食堂
4. 福祉施設や病院
5. 弁当・惣菜専門店
6. コンビニエンスストア
7. 学校給食
8. 飲食店
9. その他（                                  ）
10. 増やす必要は感じない

問18. あなたは、地場産品がどのような形で販売されていると日々の食事に取り入れやすいと思いますか。(3つまで)

1. 生鮮品のままがいい
2. 下処理済み(皮むき、カット済み等)がいい
3. 料理ごとにカットして人数分セットされているパックがいい
4. そのまま食べられる惣菜がいい
5. 冷凍食品だといい
6. その他 ( )

問19. 県では、地産地消をさらに進めるしくみを検討しています。どのようなしくみがあれば、地産地消が進むと考えますか。(○印は3つまで)

1. ポイント制度の導入などにより、購入金額の一部が購入者に還元されるしくみ
2. 地場産品を積極的に活用する飲食店や量販店等に経済的支援をするしくみ
3. 弁当や総菜など、地場産品を使用した加工食品を購入できるしくみ
4. 下処理済みの地場産品(一次加工品)を購入できるしくみ
5. 食育や地産地消を積極的に推進するボランティア活動の応援につながるしくみ
6. 学校給食における地場産品の利用推進など、子どもたちへの提供につながるしくみ
7. 農林漁業体験を通じた地場産品に対する理解を促すしくみ
8. 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法を若い世代に伝えるしくみ
9. 食の循環と環境への配慮について学ぶしくみ
10. その他 ( )

問20. 食育・地産地消の推進について、ご意見がございましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。